

日産車体株式会社

2024年度 第1四半期決算説明

(2025年3月期)



2024年 8月

決算サマリー

当社グループを取り巻く環境は、原材料価格の高騰や需要の変動など、先行き不透明な状況が続いている。

このような環境において、売上台数が今年4月に生産を開始した北米向け「新型インフィニティQX80」について増加したものの、主に「パトロール」や「AD」、「NV200バネット」等が減少した結果、減収・減益となった。

売上台数

今年4月に生産を開始した北米向け「新型インフィニティQX80」が増加したものの、主に「パトロール」や「AD」、「NV200バネット」等が減少した結果、前年同期と比べ18.6%減少の29,281台

売上高

車種構成は改善したが台数減少の影響等により、49億円減少の650億円

営業損益

20億円悪化の20億円の損失

経常損益

20億円悪化の19億円の損失

親会社株主に帰属 する当期純損益

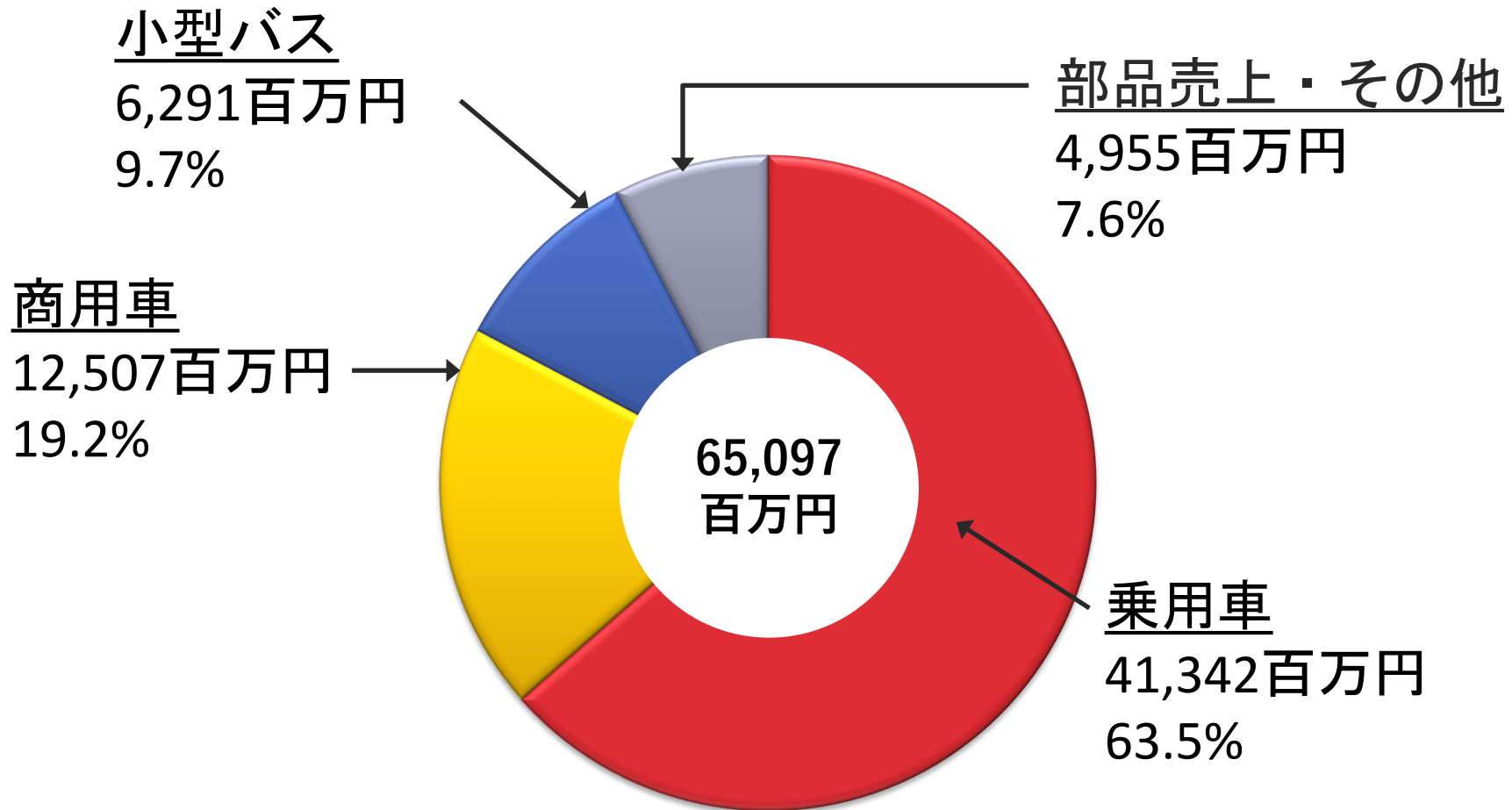
14億円悪化の13億円の損失

業績ハイライト

単位:百万円

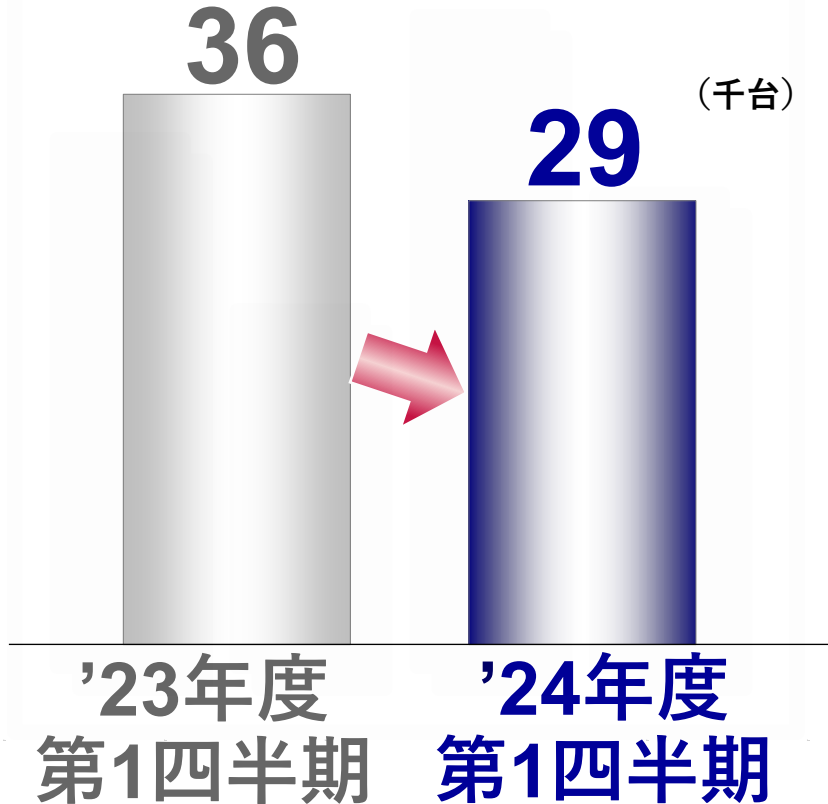
	2023年度 第1四半期 (2023/4~6)	2024年度 第1四半期 (2024/4~6)	増減額(率)		通期計画
売上高	70,032	65,097	▲ 4,935	-7.0%	328,700
営業利益	60	▲ 2,023	▲ 2,083	-	8,700
経常利益	159	▲ 1,934	▲ 2,093	-	9,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	102	▲ 1,339	▲ 1,441	-	5,400

製品別売上高構成比



売上台数

今年4月に生産を開始した北米向け「新型インフィニティQX80」が増加したものの、主に「パトロール」や「AD」、「NV200バネット」等が減少した結果、前年同期と比べ18.6%減少の29,281台

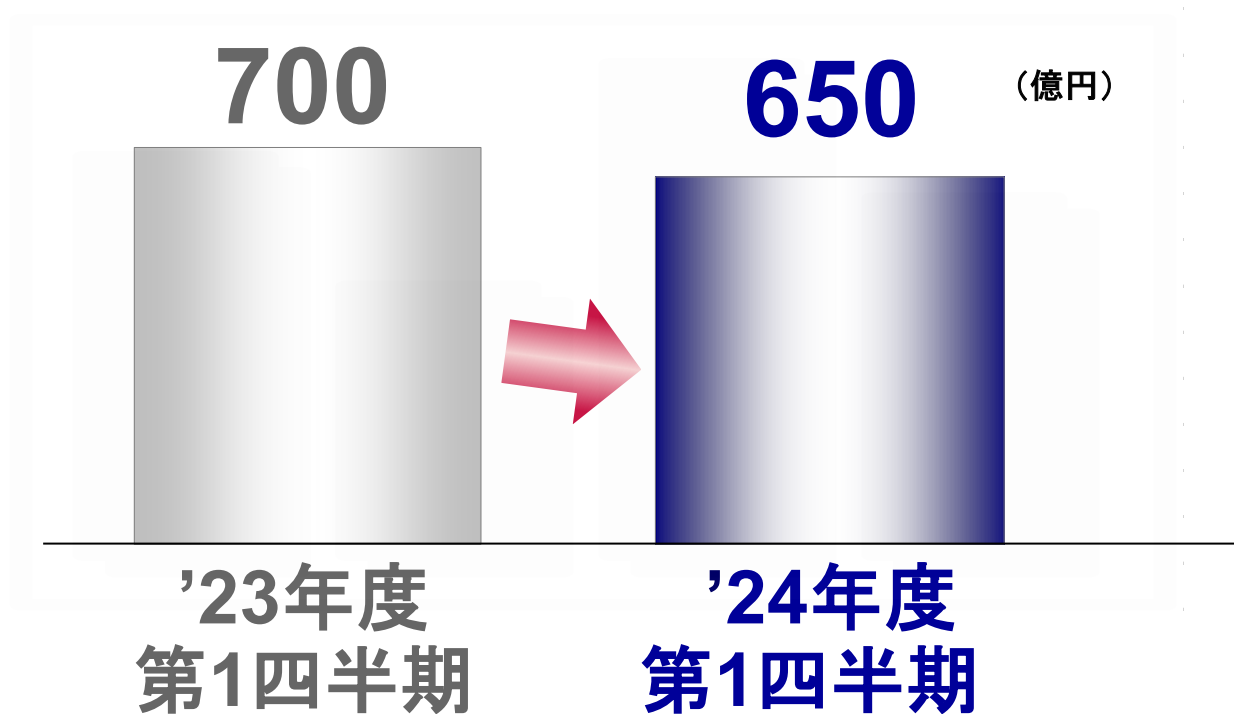


(千台)

	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	17	15	-12.0%
商用車	16	10	-37.2%
小型バス	3	4	48.2%
合計	36	29	-18.6%

売上高

車種構成は改善したが台数減少の影響等により、49億円減少の650億円

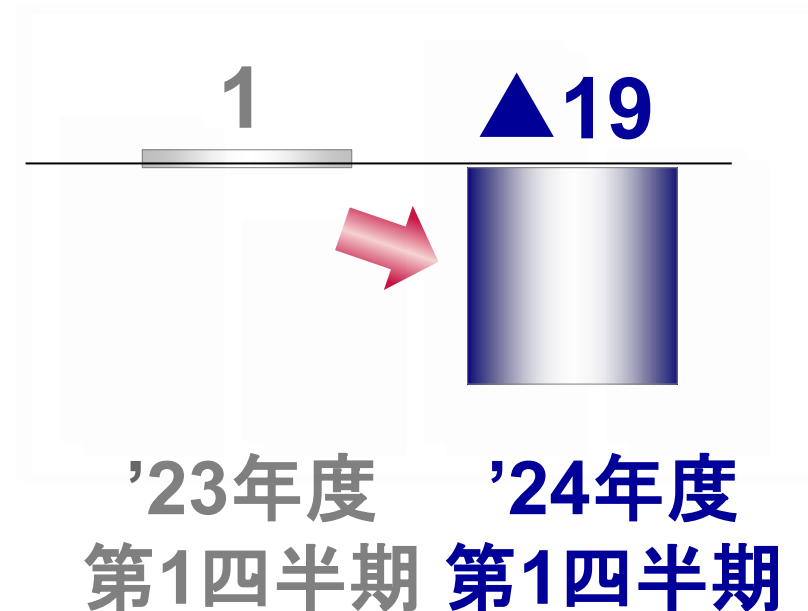


営業損益／経常損益

営業利益は20億円悪化の20億円の損失
経常利益は20億円悪化の19億円の損失

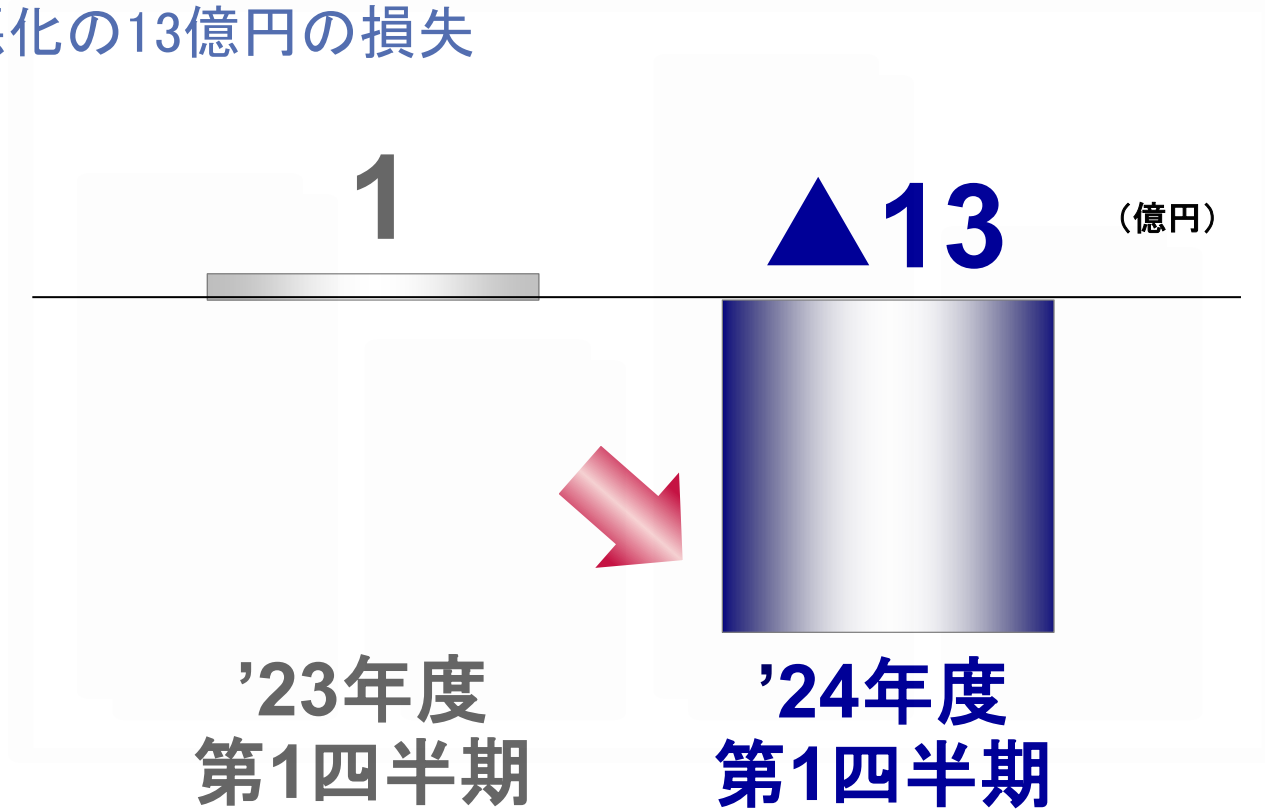
営業利益 (億円)

経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純損益

14億円悪化の13億円の損失



2024年度 1株当たり配当金

安定配当を継続する基本方針のもと、2025年3月期は年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

